



PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成22年7月28日
岡山大学

学官パートナーシップによるアジア・太平洋諸国の廃棄物マネジメントの実践的研究教育
(岡大発Xプロジェクトについて)

岡山大学廃棄物マネジメント研究センターは、循環型社会形成に関する国際研究教育拠点として、廃棄物問題を抱えるアジア・太平洋諸国の自治体、その国の提携大学、そして日本の協力自治体と共に「学官パートナーシップ」を形成し、廃棄物エリートの人材育成を図りながら、廃棄物問題解決に向けた実践的研究を行ないます。

岡山大学の廃棄物マネジメント研究センターでは、平成22年度概算要求研究教育プロジェクト「学官パートナーシップによるアジア・太平洋諸国を対象とした廃棄物マネジメントの実践的研究教育」(通称 学官パートナーシッププロジェクト、あるいはXプロジェクト)を4月より立ち上げ、去る7月23日(金)に提携大学の教授6名および学生1名、行政官1名を招聘してキックオフ会議を開催しました。

Xプロジェクトとは、岡山大学が廃棄物問題を抱えるアジア・太平洋諸国の自治体と、その国の提携大学、そして日本の自治体やNGOの協力を得てパートナーシップを形成し、その廃棄物問題に取り組むという研究スタイルを表しています。

岡山大学と提携大学との教員間の研究交流だけでなく、自治体の行政官を招聘して日本の廃棄物マネジメントを途上国に伝えるという役割を担います。また、国内外の自治体間でパートナーシップを形成する手助けをします。

教育面では、研究テーマを海外の実問題に合わせることにより、早くから学生に海外経験を積ませ、国際的に活躍できる人材への育成に努めます。

本プロジェクトの対象国は、初年度はパラオ、グアム、インドネシア、第二年度はマレーシア、中国、ベトナム、第三年度にはインド、タイを予定しています。歴史、文化、生活様式、習慣など様々な要素が関係する海外の廃棄物事情を知り、日本の廃棄物マネジメント技術の適用を探りつつ、調査研究の基礎レベルから政策提案等の実施レベルまでを段階的に進めていきます。



岡山大学

PRESS RELEASE

本プロジェクトでは、8月29日（日）に市民、環境団体、岡山市、岡山大学が協力して行うイベント「集まれ！市民のエコライフ&テクノロジー」（資料 14）を岡山大学五十周年記念館において開催します。途上国における廃棄物マネジメントの基本は、コストのかかるリサイクル技術よりもむしろ市民のごみ減量化や分別排出であり、日本のエコの教育・啓発・行動が手本になると考えています。イベントを開催し、市民のノウハウを収集するとともに、環境団体や地方自治体との協力体制を構築します。

<お問い合わせ>

岡山大学廃棄物マネジメント研究センター

教授 藤原健史

（電話番号）086-251-8994

（FAX番号）086-251-8994